



Smartek社製ストロボコントローラー HPSCシリーズ HPSC1 HPSC4

SMARTEK社製 HPSCシリーズは、最大4台まで照明の光強度、タイミング、同期およびオーバードライブを完全に制御し、マシンビジョンアプリケーションに最も重要な照明システムを安定的に供給するために高い性能を発揮します。

高出力:

デジタル制御された内部スイッチング電源は、ストロボモードで48Vで最大40Aのパルス出力、または24Vで5Aまでの正確に調整された定電流を120W出力し、あらゆる状況で十分な電力を確保します。

高効率:

最適なオートセンスと組み合わせた最先端のハードウェア設計で、いつでも理想的な動作条件で90%を超える効率を実現します。

精密同期:

入力から出力への遅延はほぼなく、最大1 μ s/1mAの分解能と1 μ s~1sの持続時間を持つパルス入力が可能です。

フル非同期操作:

独立されたアーキテクチャにより、最大50kHzの周波数をサポートしながら、全チャンネルの完全なタイミングおよびパラメータに依存しない動作が可能になります。

3つのインターフェースオプション:

イーサネット、USB2.0、RS-232の3つの異なるインターフェースオプションによる設定と制御により、あらゆる環境に対応できます。



イージーなデバイス構成:

WindowsおよびLinux用のRAWコマンドのサポートとSDK(C、C++、C#.Net、VB.Net、Delphi)によって、簡単に使用できるソフトウェアアプリケーションを介した、素早いデバイス構成。

Webインターフェイスを使用すると、プラットフォームに依存しない設定で、Webブラウザを介し、Android、iOS、およびOS Xのサポートが追加できます。

その他の主な製品特徴:

- 小さなフォームファクタながら高出力を実現
- 内部トリガ周波数の生成
- オンライン電流および電圧測定
- 過負荷な構成によるハードウェアの損傷に対する保護
- 温度センサと過熱制御
- DINレールとパネル取り付けオプション
- 3年間の保証

主な製品仕様:

	HPSC1	HPSC4
接続チャンネル数:	1	4
オペレーションモード:	Continuous, External Trigger, Internal Trigger, Software Trigger, External Switch	
最大電圧:	50V (pulsed), 30V (continuous)	
最大電流パルス:	40A @ 48V	
最大連続電流:	4A @ 24V* 5A @ 24V (with heat sink)	4A @ 24V per channel 5A @ 24V (total)
パルス出力範囲:	1 μ s to 1000ms, 1 μ s resolution	4 μ s to 60s, 1 μ s resolution
最大周波数(トリガ):	4.9kHz	50kHz
内部トリガージェネレータ:	up to 999Hz	up to 25kHz
トリガ入力:	Opto-isolated, HIGH at 5V to 24V; positive or negative edge	
トリガ出力:	Open-collector, max. 30V / 50mA	
インターフェイス:	イーサネット (10/100BaseT), USB2.0 or RS-232	
電源:	12V-24V DC (min. 11V, max. 26V)	
消費電力:	Max. 150W (出力負荷と動作電圧に依存)	
ハウジング:	アルミケース, 黒アルマイト加工処理	
外形寸法 (HxWxL):	39 x 88 x 103 mm	45 x 130 x 142 mm
重量(approx.):	270g	650g
保存温度:	From -30° C / -22° F up to +80° C / +176° F	
動作温度 (周囲温度):	From -5° C / +23° F up to +50° C / +122° F*	
動作相対湿度:	From 25% up to 80% (non-condensing)	

*HPSC1: Max. 25°Cの周囲温度 または ヒートシンク取り付けが条件

コネクタ概要:



ソフトウェア環境:

- 付属ソフトウェア: SMARTEK Vision ScLibClient
ストロボコントローラの構成、制御、機能設定用ソフトウェア
- ブラウザインターフェイス: HTTPを介したリモート設定
- SDK: ScLibSDK APIドキュメント, サンプルプログラム(C, C++, C# / VB.Net, Delphi)コンフィギュ用ソフトウェア
- ファームウェアアップデート: イーサネット、USB、RS232シリアルインタフェース経由